

Nara National Museum

奈良国立博物館

だより

第98号

平成28年 7・8・9月



忍性菩薩像(部分) (奈良・西大寺)

特別展

生誕800年記念特別展

忍性

—救済に捧げた生涯—

7月23日(土)～9月19日(月・祝)

東・西新館

名品展

珠玉の仏たち

通期開催
なら仏像館

中国古代青銅器

通期開催
青銅器館

特別展

生誕800年記念特別展

忍性

—救済に捧げた生涯—

7月23日(土)～9月19日(月・祝)

良観房忍性は、建保五年(一一二一

七)に大和国城下郡屏風里(現在の奈良県磯城郡三宅町)で生まれました。

早くに亡くした母の願いをうけて僧侶となり、西大寺の叡尊を師として、真言密教や戒律受持の教えを授かり、貧者や病人の救済にも身を惜しまぬ努力をしました。特にハンセン病患者を毎日背負って町に通ったという話には、慈悲深く意志の強い忍性の人柄がうかがえます。

後半生は活動の拠点を鎌倉に移し、より大規模に戒律復興と社会事業を展開します。

人々の救済に努めた忍性に、後醍醐天皇は「菩薩」号を追贈されました。

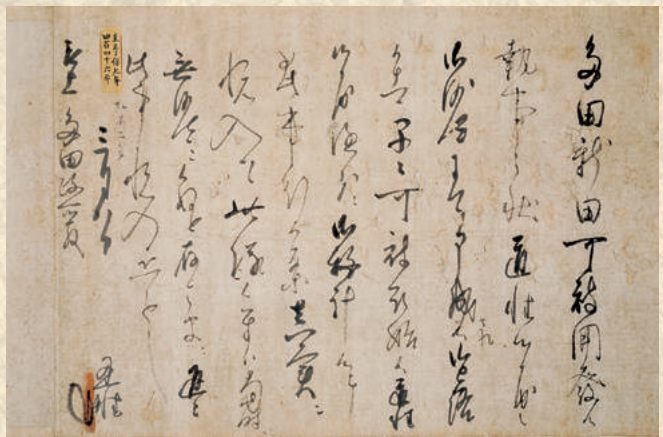
来年、平成二十九年(二〇一七)は忍性の生誕八〇〇年にあたります。本展では忍性ゆかりの寺院に伝わる名宝や文化財を一堂に集め、奈良生まれの名僧の熱い人生とその偉業を偲びます。



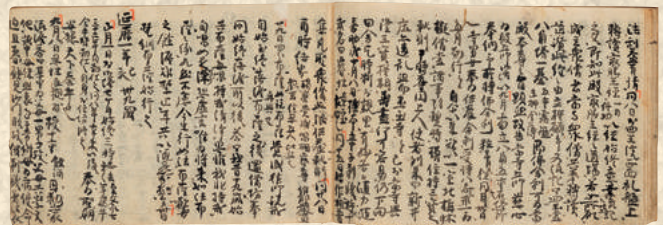
忍性菩薩坐像(神奈川・極楽寺)



◎文殊菩薩騎獅像(奈良・西大寺)※前期(7/23～8/21)展示



◎忍性書状(兵庫・多田神社)※後期(8/23～9/19)展示



◎金剛仏子叡尊感身学正記(奈良・西大寺)※前期(7/23～8/21)展示



◎忍性骨蔵器
 (上/神奈川・極楽寺、左下/
 奈良・竹林寺、右下/文化庁)



文殊菩薩坐像 (神奈川・極楽寺)



◎釈迦如来立像 (神奈川・極楽寺)



◎十大弟子立像のうち三軀 (神奈川・極楽寺)



◎東征伝絵巻 巻第三 (奈良・唐招提寺) ※前期・後期で巻き替え

リニューアルオープンした 「なら仏像館」

当館学芸部上席研究員 岩田 茂樹

一年半の間、休館していた「なら仏像館」がリニューアルオープンした。初日の四月二十九日朝には、開館を待つ七十人ほどの人々の列ができた。オープンを心待ちにしておられた方が多かったのだとあらためて思う。が、待っていたいた価値はあったのではないかと、ひそかに考えている。内覧会にご招待したお客様の評判も上々であった。

今回のリニューアルで変わった点は少なくない。まず、なら仏像館中央の大きな三つの展示室（第6・7・8室）は、ケースをすべて撤去し、等身大以上の大型の仏像を、ガラス越しではなく直接見ていただけるようにした。展示台はいずれも免震機能を備えている。また作品との距離については、セキュリティの観点から許されるぎりぎりの近さとなっているはずだ。作品表面の肌合いをまじかに感じとっていただきたいと思う。小さな作品については残念ながらガラスケースに入れざるをえないが、高透過ガラスに低反射フィルムを貼付したことによって、ここでもリアルな鑑賞が可能になっているはずである。

次の変更点として、照明設備を一新したことがあげられる。仏像のような三次元的作品の場合、その立体感を出すためには、ある程度高い位置からのスポット照明が必須である。

しかし、なら仏像館は、明治の近代洋風建築として貴重な建造物であり、重要文化財に指定されている関係上、むやみにボルトを打ち込むこともできず、建物内部に構造物を設けることはかなり困難であった。今回、設計事務所から提案さ



ルーブル美術館ランス別館

れ、協議の結果採択されたのは、次のような方法であった。まず建物の内壁とは別に、壁を立ち上げ、これを上部に幾つも渡した梁で固定する。この梁は同時に天井からの照明をやわらげるルーバーとしての役割をになうとともに、梁及び壁の上面から上向きの間接光を照射することにより、建築細部に施された彫刻をお見せすることもできるようになった。さらに、梁を利用してダクトコンセントを設置し、ここから作品に對してのスポット照明を行うことが可能となったのである。

このような方式の発想のヒントとなったのは、二〇一二年十二月に開館したフランス・ルーブル美術館ランス別館であった。建築設計は日本人が手がけている。ただしランスの場合は、壁も梁もすべて金属製であり、展示室内はややメタリックな輝きが充溢している。なら仏像館ではこれを木胎に桜色の顔料を混ぜた漆喰を左官の手仕事で塗る仕上げとしており、光をやわらかく吸収し、室内をあたたかな空気で満たす効果を發揮しているように思われる。どちらを好むかは人それぞれだろうが、木彫を主体とする日本の仏像の展示のためには、今回の選択が正解であったのではないかと考えている。

天井照明、間接照明、そしてスポットライトはすべてLEDを採用した。調光

可能なLEDスポットが発売されるタイミングに恵まれたのも幸いであった。決して完全なものではないが、これまでの日本の仏像展示のなかでは、かなりレベルの高い照明を行えたのではないかと自負しているのだが、如何であろうか。



なら仏像館第6室展示風景

一人でも多くの方にご来館いただき、検証していただきたいと願っている。

さて、なら仏像館の最後の展示室である第13室北側の壁ケースには、当館の所蔵する一〇〇点余りの仏像のパーツを並べている。いずれも破損した仏像の手先、足先、着衣や、光背、台座の一部、あるいは装身具などである。木造や銅造もあれば乾漆造や塑造もあり、また時代的には飛鳥時代から鎌倉時代に及ぶ。なかにはあの寺のあの像の一部ではないか、などと想像されるものもあるのだが、確定はなかなか困難である。なおこれらの伝来については詳細不明ながら、廃仏毀釈による明治初頭の仏教寺院受難の時期に流出したものらしい。想像をかき立てられる、見飽きないコーナーとなったので、是非ご堪能いただきたい。

【表紙写真解説】

忍性菩薩像



絹本着色
縦二一・二cm 横四九・六cm
鎌倉～南北朝時代(十四世紀)
奈良・西大寺

良観房忍性(一一二七～一三〇三)を描いた掛幅である。扠子を手に執り、法被を掛けた椅子に坐す姿を表す。前の机には戒尺・柄香炉・三衣包といった、通常受戒などの法会に用いた仏具を並べているため、本品はそのような法会に懸ける御影であったと考えられる。やや突き出た頭頂部、目尻の下がった目元、そして赤く分厚い鼻先は、各像に共通する、忍性のトレードマーク。柔和な表情は、慈悲に深かったというその心のしるしをよびだす。

伊藤久美(当館学芸部研究員)



◎如来三尊像(当館)



二天王立像(伝持国天)(室生寺)



◎如意輪観音菩薩坐像(当館)



◎十一面観音菩薩立像(新薬師寺)

出陳一覽

名品展 珠玉の仏たち

なら仏像館
6月28日(火)

〔彫刻〕

〔第1室〕

- 大将軍神坐像 当館
- 蔵王権現立像 当館
- 地藏・龍樹菩薩坐像 当館
- 毘沙門天立像 当館
- 南無仏太子立像 当館

〔第2室〕

- 如意輪観音菩薩坐像★ 当館
- 十一面観音菩薩立像★ 海住山寺
- 獅子☆ 当館
- 獅子☆ 当館
- 薬師如来坐像 当館
- 観音菩薩立像 本山寺
- 観音菩薩立像 細見美術財団

〔第3室〕

- 阿弥陀如来坐像 当館
- 宝冠阿弥陀如来坐像 安楽寿院
- 阿弥陀如来坐像 善福寺
- 薬師如来坐像★ 当館
- 阿弥陀如来坐像★ 金剛寺
- 阿弥陀如来坐像★ 当館
- 阿弥陀如来立像☆ 当館
- 阿弥陀如来立像☆ 個人
- 阿弥陀如来立像☆ 個人

〔第4室〕

- 菩薩立像 金竜寺
- 力士立像 当館
- 天部坐像 当館
- 薬師如来坐像 見徳寺

〔第5室〕

- ◎文殊菩薩坐像 薬師寺
- ◎誕生釈迦仏立像 正眼寺
- ◎誕生釈迦仏立像 当館
- ◎誕生釈迦仏立像 当館
- ◎誕生釈迦仏立像 悟真寺
- ◎菩薩立像 当館
- ◎菩薩半跏像 法起寺
- ◎観音菩薩立像 神野寺
- ◎観音菩薩立像 法隆寺
- ◎観音菩薩立像 観心寺
- ◎観音菩薩立像 金剛寺
- ◎観音菩薩立像 個人
- ◎二仏並坐像 当館
- ◎誕生釈迦仏立像 個人
- ◎観音菩薩立像 個人
- ◎十一面観音菩薩立像 個人
- ◎力士立像 個人
- ◎如来立像 個人
- ◎如来立像 園城寺
- ◎釈迦如来坐像 文化庁
- ◎薬師如来坐像 当館
- ◎大威徳明王騎牛像 当館
- ◎不動明王立像 当館
- ◎勢至菩薩立像 当館

〔第6室〕

- ◎阿弥陀如来立像(裸形) 浄土寺
- ◎法華説相図 長谷寺
- ◎釈迦如来立像 法明寺
- ◎阿闍如来坐像 西大寺
- ◎如来三尊像 当館
- ◎如来三尊像 個人
- ◎天部立像 兵庫県
- ◎如来立像 当館
- ◎阿弥陀如来坐像 歎喜寺
- ◎宝冠阿弥陀如来坐像 當麻寺

〔第7室〕

- ◎如意輪観音菩薩坐像 当館
- ◎薬師如来坐像 海住山寺
- ◎千手観音菩薩立像 妙法院
- ◎光背(二月堂本尊所用) 東大寺
- ◎十一面観音菩薩立像 勝林寺
- ◎十一面観音菩薩立像 新薬師寺
- ◎十一面観音菩薩立像 薬師寺
- ◎十一面観音菩薩立像 地福寺
- ◎十一面観音菩薩立像 園城寺
- ◎十一面観音菩薩立像 元興寺

〔第8室〕

- ◎広目天立像 興福寺
- ◎增長天立像 当館
- ◎兜跋毘沙門天立像 室生寺
- ◎降三世明王坐像 金剛寺

〔第9室〕

- ◎龍猛菩薩立像 泰雲院
- ◎地藏菩薩立像 十市町自治会
- ◎地藏菩薩立像 長命寺
- ◎明星菩薩立像 弘仁寺
- ◎毘沙門天立像★ 高尾地藏堂
- ◎准胝観音菩薩立像☆ 文化庁
- ◎地藏菩薩立像☆ 大福寺
- ◎地藏菩薩立像☆ 新薬師寺

〔第10室〕

- ◎不動明王立像 当館
- ◎愛染明王坐像 当館
- ◎不動明王坐像 園城寺
- ◎馬頭観音菩薩立像★ 浄瑠璃寺
- ◎五大明王像☆ 当館
- ◎不動明王坐像 正寿院

〔第11室〕

- ◎十二神将立像(午神・亥神) 当館
- ◎四天王立像★ 海住山寺
- ◎四天王立像★ 靈山寺

〔第12室〕

- ◎阿弥陀如来立像(善光寺式) 善光寺
- ◎菩薩坐像 文化庁
- ◎帝釈天坐像 室生寺
- ◎十二神将立像(辰神・未神) 室生寺
- ◎諸尊仏龕 個人
- ◎諸尊仏龕 寂照寺
- ◎吉祥天倚像 当館
- ◎地藏菩薩立像 当館
- ◎僧形立像 当館
- ◎十一面観音菩薩立像 当館
- ◎十一面観音菩薩立像 当館
- ◎蔵王権現立像(五軀) 大峯山寺
- ◎破損仏像残欠コレクション(一〇〇点) 当館

〔第13室〕

- ◎四天王立像☆ 現光寺
- ◎八幡三神坐像★ 薬師寺
- ◎龍神像☆ 薬師寺
- ◎狛犬☆ 與喜天満神社
- ◎大津皇子坐像 薬師寺
- ◎僧形神坐像★ 当館
- ◎女神坐像★ 当館
- ◎男女神坐像☆ 当館
- ◎男神坐像 観音寺
- ◎童子形坐像 当館

名品展

中国古代青銅器 (坂本コレクション)

青銅器館

中国古代の商(殷)から漢代に製作された、青銅器の逸品を展示しています。

※◎＝国宝、○＝重要文化財
★9月19日(月・祝)まで
☆9月21日(水)から

❖ 生誕800年記念特別展「忍性」公開講座❖

- ・8月6日(土)
「日本仏教史上における忍性-鎌倉版マザー・テレサ」
山形大学人文学部教授 松尾 剛次氏
- ・8月27日(土) 「忍性と極楽寺の仏像」
当館学芸部研究員 山口 隆介
- ・9月10日(土) 「三つの忍性墓について」
当館学芸部列品室長 吉澤 悟

時間：各回とも13:30～15:00(13:00開場)

会場：当館講堂

定員：194名(先着順)

聴講無料(入場には整理券が必要です)

◎公開講座の聴講受付の方法が変わりました

- * 12:00から西新館1階エレベーター付近にて入場整理券(お1人様につき1枚)を配布します。
- * 配布は講座開始30分後で終了します。
- * 入場整理券の受取の際には、本展の観覧券もしくはその半券、国立博物館パスポート等をご提示ください。

❖ イベント情報 ❖

■特別展『忍性』子ども無料日

7月30日(土)・7月31日(日)を、子ども無料日としました。中学生以下の方はどなたでも、無料で忍性展を観覧できます。同伴の方は団体料金で観覧していただけます。

■特別展『忍性』子ども無料日イベント

◇「描いて飾ろう文殊菩薩～忍性のきもちになって～」

忍性が信仰した文殊菩薩の描画体験・表具作りのワークショップです。

日時：7月30日(土)①10:30～12:00/②13:30～15:00

会場：当館地下回廊

対象：小・中学生

定員：各回20名(事前申込み・先着順)

参加費：無料

応募方法：

- ◆WEBから：当館ホームページ <http://www.narahaku.go.jp> 専用の申込み画面より必要事項を入力してください。
- ◆電話：総務課企画推進係 0742-22-4450 (平日の10時～17時[土・日・祝日は除く])

主催：奈良国立博物館・

奈良教育大学 大学院「地域と伝統文化」教育プログラム

※詳細は、当館ホームページ等をご覧ください。

◇きく!みる!ふれる!東征伝絵巻(とうせいであえまき)」

日時：7月31日(日)①10:00～12:00/②13:30～15:30

会場：当館講堂

講師：石田 太一師(唐招提寺副執事長)

対象：小・中学生とその保護者

定員：各回40組80名(事前申込み・先着順)

参加費：無料

応募方法：申込1回につき1組でお願いします。

- ◆WEBから：当館ホームページ <http://www.narahaku.go.jp> 専用の申込み画面より必要事項を入力してください。
- ◆往復はがき：往信用はがきに①住所、②参加者の名前と年齢・学年、③保護者の名前、④電話番号、⑤参加希望回をご記入の上、下記の宛先までお送りください。
〒630-8213 奈良市登大路町50 奈良国立博物館 学芸部教育室
受付開始：6月23日(木)※定員になり次第、募集は締め切ります。

■夏の3大アート展スタンプラリー

神戸市立博物館「ボストン美術館所蔵 俺たちの国芳 わたしの国貞展」(6月18日～8月28日)、京都市美術館「ダリ展」(7月1日～9月4日)、当館「忍性展」の3会場を巡るスタンプラリーを開催します。詳細は当館ホームページ等をご覧ください。

❖ サンデートーク ❖

美術や歴史のこと、博物館の活動など、当館ならではの多彩なテーマ、日頃聞くことの出来ない「通」なお話をご用意して、皆様をお待ちしております。どうぞお気軽にご参加下さい。

■7月17日(日)「文化財を科学するⅢ」
鳥越 俊行(当館学芸部保存修理指導室長)

文化財の科学的調査のお話3回目として、今回は2007年7月に世界遺産に登録された石見銀山遺跡についてお話しします。

■8月21日(日)「再発見された平安時代の古文書二通
—民部省符と東大寺注進状案—」
野尻 忠(当館学芸部企画室長)

近年、長く行方不明だった史料が再発見される場面に何度か出会いました。今回はその中から延長4年(926)民部省符と天永2年(1111)東大寺注進状案を紹介します。

■9月18日(日)「南都絵所の仕事」
北澤 菜月(当館学芸部研究員)

中世の奈良で必要とされた仏教絵画を描き、社殿などの彩色をも担った南都絵所の絵師たち。その室町時代を中心とした画業についてお話しします。

■10月16日(日)「世界の火葬から」
吉澤 悟(当館学芸部列品室長)

ギリシアやローマ、インドや日本など古代世界の様々な火葬墓、骨壺の事例を紹介します。

■11月20日(日)「平安時代の宮中仏事」
斎木 涼子(当館学芸部研究員)

平安時代、宮中では様々な年中行事が設けられましたが、そこには多くの仏事が含まれていました。天皇や貴族にとって重要であった仏事をとりあげます。

■12月18日(日)「仏像調査からわかること その4
—圓教寺奥乃院の諸尊—」
岩田 茂樹(当館学芸部上席研究員)

播磨の名刹書写山圓教寺の奥乃院は、同寺の開山である性空の肖像彫刻を祀る開山堂や、二棟の護法社等からなるエリアです。最近の調査で見いだされた奥乃院に安置される諸尊像を紹介し、その彫刻史における位置づけを考えます。

時間：各回とも14:00～15:30(13:30開場)

会場：当館講堂

定員：194名(先着順)

聴講無料(入場には整理券が必要です)

◎サンデートークの聴講受付の方法が変わりました

- * 12:30から西新館1階エレベーター付近にて入場整理券(お1人様につき1枚)を配布します。
- * 配布はトーク開始30分後で終了します。

◆奈良国立博物館賛助会

平成28年6月30日現在、一般会員(個人)49名、一般会員(団体)17団体、特別会員4団体、特別支援会員4団体のご入会をいただいております。

◆キャンパスメンバーズ

平成28年6月30日現在、「キャンパスメンバーズ」会員の大学等は以下の通りです。

大阪大学、関西大学、関西大学第一高等学校・関西大学北陽高等学校・関西大学高等部、京都外国語大学・京都外国語短期大学、京都教育大学、京都教育大学附属高等学校、京都工芸繊維大学、京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部、京都精華大学、京都大学、京都橘大学、近畿大学文芸学部・近畿大学大学院総合文化研究科、就実大学人文学部、帝塚山大学、天理大学、同志社大学・同志社女子大学・同志社高等学校・同志社香里高等学校・同志社女子高等学校・同志社国際高等学校、奈良学園大学・奈良文化女子短期大学部・奈良文化高等学校・奈良学園高等学校・奈良学園登美ヶ丘高等学校、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良工業高等専門学校、奈良佐保短期大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良大学、佛教大学、立命館大学・立命館大学大学院、龍谷大学・龍谷大学短期大学部 (以上、五十音順)

展示品の
みどころ

忍性骨蔵器
(額安寺五輪塔納置品)

重要文化財
銅製 金寿造
総高29.7cm 胴径15.3cm
鎌倉時代 嘉元元年(1303)
文化庁



「忍性展」の最重要作品の一つ。
まさに忍性その人の遺骨を納めた
容器である。

忍性は鎌倉・極楽寺の長老として

87歳で波乱に満ちた生涯を閉じた。忍性の伝記『性公大徳譜』によれば、臨終においては律僧の正装である大衣を着し、口に真言を唱え、手に印を結び、静かに釈迦像に直面していたという。その数日前のことであろうが、鎌倉を襲った強烈な日照りに対して身命をかけた祈りを捧げ雨乞いを成功させている。世のため民衆のために尽くした、まっすぐな忍性らしい最期であった。

本品は銅製の水瓶形で、胴部には24行、全347字の銘文が刻まれている。忍性の父は伴氏、母は榎氏という出自にはじまり、16歳で出家、東大寺戒壇院や西大寺、家原寺などで戒を授かり、慈悲をもって民衆を諭した人柄をうたい、晩年は東大寺や四天王寺の大勧進(復興責任者)を勤めたことなどが記されている。遺言により遺骨は三分され、ゆかりの三寺に納められた。一つは後半生の拠点であり、臨終の場となった鎌倉の極楽寺。二つ目は民衆救済の大先輩、行基の墓がある竹林寺(奈良県生駒市)。三つ目は出家して最初に入った額安寺(同大和郡山田市)で、本品はこれにあたる。総高2m90cmの巨大な石造五輪塔の地下から昭和57年に発見された。現在、三つすべての骨蔵器が発見されているが、不思議なことに三つが一所に並ぶことはなかった。忍性の生涯をたどる大展示会の場で、史上初の集合が叶うあたり、やはり忍性さんてドラマティックな人だな、と思う。

吉澤 悟(当館学芸部列品室長)

◆7月23日～9月19日
生誕800年記念特別展「忍性-救済に捧げた生涯-」にて展示

毘沙門天立像

木造 彩色・漆箔
像高99.8cm
平安時代(12世紀)
滋賀 高尾地藏堂



高尾地藏堂の所在する滋賀県甲賀市土山町鮎河は、滋賀・岐阜・三重三県の境界に連なる鈴鹿山脈の西麓に抱かれた山深い里である。この地に伝来した木造毘沙門天立像は、『甲賀市史』第2巻(平成24年2月刊行)のための事前調査によって見いだされた。発見時には表面が分厚い後補の彩色で覆われ、また足もとの邪鬼は矧ぎ目が完全に糊離れし、かろうじて針金を巻いて四分五裂するのを防いでいる状態であった。両手先や光背の一部をはじめ亡失した部分も多く、また像本体についても各所に隙間が空いて危険な状況であった。

幸い本像は当館に寄託され、ご来館の皆さまから頂戴した寄付金を用いて、奈良国立博物館内の文化財保存修理所において(公財)美術院の技師による保存修理が行われた。作業は、まず修理前の状況を写真と調査に記録した後、全部材の解体を行い、表面の後補彩色の除去を経て、欠失する部材の新補、および各部材の慎重な組み付けという順序で進行した。その過程で、顔面を中心に肉身部には淡紅色の彩色が、甲冑の一部には漆箔が残されていることもわかり、当初の仕上げを復元的に考えることが可能となった。

幸い本像は当館に寄託され、ご来館の皆さまから頂戴した寄付金を用いて、奈良国立博物館内の文化財保存修理所において(公財)美術院の技師による保存修理が行われた。作業は、まず修理前の状況を写真と調査に記録した後、全部材の解体を行い、表面の後補彩色の除去を経て、欠失する部材の新補、および各部材の慎重な組み付けという順序で進行した。その過程で、顔面を中心に肉身部には淡紅色の彩色が、甲冑の一部には漆箔が残されていることもわかり、当初の仕上げを復元的に考えることが可能となった。

仏敵に対する威嚇の相を表す武装神将形ながら、忿怒の表情をあまり強調せず、しなやかな姿体や着衣の繊細な表現が見どころであり、典雅さの充溢する王朝風の作品といえる。院政期に京都を中心に活動した円派ないし院派に属する仏師の作と推測される。伝来に関する情報を欠くが、近江一国に広がっていた撰関家領と関わるのではないかという想像も捨てがたい。

岩田 茂樹(当館学芸部上席研究員)

◆6月28日～9月19日 名品展「珠玉の仏たち」にて展示

開館日時(7月～9月)

■開館時間 / 午前9時30分～午後5時
・特別展「忍性」会期中は午後6時まで、毎週金曜日と8月6日(土)～15日(月)は午後7時まで
※入館は、閉館の30分前まで

■休館日 / 毎週月曜日
(ただし、7月18日、8月8日、15日、9月19日は開館)、
7月19日(火)、9月20日(火)

●無料観覧日(名品展のみ)
・9月19日(敬老の日)

●=国宝、◎=重要文化財

観覧料金 特別展「忍性」

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人(当日)	1,300円	900円	500円
団体・前売	1,100円	700円	300円

※団体は20名以上です。 ※前売券の販売は7月22日(金)まで。
※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
※特別展観覧券で名品展も観覧できます。

観覧料金 名品展・特別陳列

	一般	大学生	高校生以下
個人	520円	260円	無料
団体	410円	210円	無料

※団体は20名以上です。
※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、
障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
※毎月22日にご夫婦で観覧される方は、各半額となります。
※中学生以下の方と一緒に観覧される方は、団体料金を適用します。
(子どもといっしょ割引)



[交通案内] 近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス外回り「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。